

第26回 北海道中学生バスケットボール学年別大会

大会特別ルール

1. 出場選手数について

例年同様、試合において各チームは、10人以上の選手を出場させなければならない。

上記に違反があった場合

- ・片方のチームだけのとき 20 - 0で違反したチームの負け
但し、それ以降の試合に関しては出場できる。
- ・両チームが違反したとき 没収試合とする。
但し、それ以降の試合に関しては出場できる。

2. 選手の出場ピリオドの制限について

従来通り、最大3ピリオドまでの出場にする。

上記に違反があった場合

- ・ベンチのテクニカルファウル扱いとする。コーチにテクニカルファウルをつける。
(2本のフリースロー & ボール保持)
選手が4ピリオドに出場していること(コートに出てプレーをした)が判った時点でゲームを止め、ベンチのテクニカルファウルとして処理する。
2人目以降に関しても同様の扱いとする。
コーチが2回目のテクニカルファウルを受けても退場とはしない。

開催地区への要望

上記の違反が起きないように、大会開催地区においてT・Oを担当する生徒に関して事前に十分な指導をしていただきたい。(特に、スコアラーとサブスコアラーを担当する者については、スコアシート&サブスコアでチェックし、選手が4ピリオドの出場であることを本人に告げるようにしてほしい。)

各チームへの要望

選手は出場する際には、背番号をT・Oに見せるように各チームで指導していただきたい。(各ピリオドの開始においても上記同様にしていただきたい。そのために開始時間が遅れないように各ピリオド開始30秒前には選手をコートに出すようにしていただきたい)

各チームにおいて、スコアをきちんとつけ、各選手の出場ピリオド数並びに出場選手数をチェックするようにして下さい。T・Oが万が一見逃した場合においても各チームで責任を取ってまいります。T・O生徒にクレームを付けないようにして下さい。

帯同審判への要望

審判に関しても上記特別ルールに関して十分周知徹底し、違反が起きる前に防げるように各チームのベンチに対して声をかけるようにしていただきたい

- ・3ピリオド終了後に、出場選手が10人に満たない場合
- ・選手が4ピリオドの出場をしようとした場合